

新型コロナウイルス感染症対策の現状報告について (令和4年3月21日以降)

1 感染の状況等

これまでで最も大きな波となった第6波は、いまだ多くの新規陽性者が発生しており、特に小中学生などの若年層での感染拡大が目立っている。飯田市では、小中学校、児童福祉施設で陽性者が確認された場合、登校、登園のタイミングによって学級閉鎖や学年閉鎖の措置を取り、それ以上の感染拡大が起きないように対策を講じてきている。

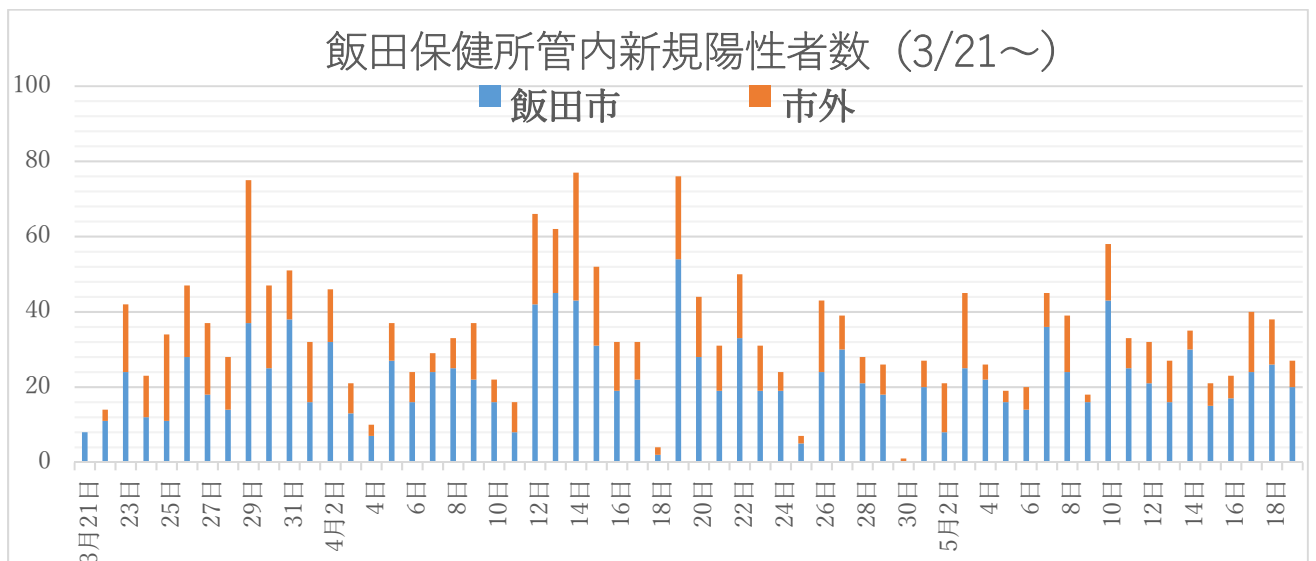
3月末には、7年に一度開催される「飯田お練りまつり」が様々な感染対策を講じた上で実施され、多くの市民の方が出演・観覧し、地域全体に活力を与えてくれる催しとなった。一部で陽性者が確認されるなどの課題や改善点などはあったが、今後開催されるイベントにおいて活かすことができる知見であり、その意味でも、お練りまつりの開催には大きな意義があった。その後に開催された「やまびこマーチ」や「オーケストラと友に音楽祭」などは特段の問題なく開催できている。

現在も、当圏域の新規陽性者は連日一定数確認されており、感染経路が不明なものも一定割合で存在している。オミクロン株（BA.1）よりもさらに感染力が強いとされている変異株（BA.2）への置き換えが進んでいる中で、3年ぶりに何も制限を受けないゴールデンウィークを迎えたが、人の動きが大きかったにもかかわらず、お盆や年末年始のような急激な新規陽性者の増加は見られなかった。

屋外でのマスク着用の考え方等、感染対策も徐々に緩和の方向で進められている。今後は感染状況に応じ、特に重症化リスクが高い高齢者等を守りつつ、長引くコロナ禍により影響を受ける市民・事業者を支援しながら、社会経済活動を両立させていく必要がある。

ワクチン追加接種のさらなる促進と小児接種に向けた体制構築、中長期的な視点も踏まえた医療・検査体制、さらに、飲食・宿泊等の事業者支援等を充実させ、感染拡大防止と社会経済活動を両立させるための対策を進めることが重要である。

併せて、人との距離、会話の際のマスクの着用などの基本的な感染防止対策を適切に講じることを改めて呼びかけ、自らと周囲の人の健康をご自身の行動で守っていただくとともに、誰もが感染する可能性があるという当事者意識の浸透と、陽性者等を温かく見守る地域づくりを推進する必要がある。



【全県】（全県人口 2,048,011 人）

（単位：人）

発生日	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日
直近1週間の陽性者数	2,857	2,999	2,883	2,868	2,866	2,888	2,996
増	446	413	421	439	244	480	553
減	△193	△271	△537	△454	△246	△458	△445
直近1週間人口10万人当たり新規陽性者数	139.50	146.43	140.77	140.03	139.94	141.01	146.28

【南信州】（圏域人口 155,346 人）

（単位：人）

発生日	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日
直近1週間の陽性者数	245	252	242	224	229	211	216
増	32	27	35	21	23	40	38
減	△19	△20	△45	△39	△18	△58	△33
直近1週間人口10万人当たり新規陽性者数	157.71	162.21	155.78	144.19	147.41	135.82	139.04

【参考】

（令和4年3月29日改正）

感染警戒レベル	直近1週間人口10万人当たり新規陽性者数
2	4.0人 → 15.0人
3	10.0人 → 30.0人
4	20.0人 → 60.0人
5	30.0人 → 90.0人
6	まん延防止等重点措置の特定区域

2 本省会議

○第25回新型コロナウイルス感染症飯田市対策本省会議（4月22日：任意設置、通算41回目）

- ・ 専門家会議の報告
- ・ 感染警戒レベルの改正の確認
- ・ 市職員の感染症拡大防止について協議、決定
- ・ 3回目ワクチンの接種状況の確認
- ・ 市民向けメッセージについて協議、決定

3 専門家会議

○第13回飯田市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

- ・ 「飯田お練りまつりの実施に関するまとめ」に対する意見聴取

- ・今後のイベントについて（オケ友、T O J、人形劇フェスタ）の意見聴取
- ・ゴールデンウィークに向けた市民への呼びかけについて意見聴取

4 感染対策

○市有施設の使用

【従前】

レベル	対 応
6	原則休館 注) 感染状況により、屋外施設や入場制限可能な観覧施設は開館する場合がある
5	屋外施設：使用可 屋内施設：定員の半分 かつ 2時間以内の利用に限り、使用可 注 1) 学校施設の体育館や校庭、美術博物館プラネタリウムは原則使用不可 注 2) 施設によっては、使用の制限を設ける場合あり
4	屋外施設：使用可 屋内施設：定員の半分の利用に限り、使用可
1～3	感染予防対策を徹底のうえ、使用可

※感染の状況により、閉館とする場合あり

【変更後】

レベル	対 応
6	原則休館 注) 感染状況により、屋外施設や入場制限可能な観覧施設は開館する場合がある
5	感染予防対策を徹底のうえ 屋外施設：使用可 <u>屋内施設：定員の半分の利用に限り使用可</u> <u>注 1) 学校施設の体育館・武道場は使用不可</u> 注 2) 施設によっては、使用の制限を設ける場合あり
4	屋外施設：使用可 屋内施設：定員の半分の利用に限り、使用可 注) 社会体育施設・社会教育施設については制限なく使用可
1～3	感染予防対策を徹底のうえ使用可

※感染の状況により、閉館とする場合あり

- 市有施設一部開館などの対応
 - ・市有施設の使用については、上記のとおりとし、適用開始日は5月13日
- 簡易検査キットの取り組み
 - ・通常郵送配布
 - 配布実績数：217,298個（令和3年8月4日～令和4年3月23日）
 - 53,351個（令和4年4月1日～令和4年5月16日現在）
- 保育園などの状況（3月21日～5月16日）
 - ・休園 8園
 - ・一部休園 24園
- 小中学校の状況（4月7日～5月17日）
 - ・休校 なし
 - ・学年・学級閉鎖 28校中16校のべ62学年・学級

5 事業者等への支援

- 事前検査による安心な会食等の実施を支援
 - 申請件数 112件 2,593個（5月16日現在）

6 生活支援

- 濃厚接触者や自宅療養者の不安やストレスなど心のケアや食料・日用品の調達等様々な困りごとについて相談できる専用電話
 - 相談件数：15件 うち食糧支援4件（5月16日現在）
- 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付
 - 支給件数 1,026件 102,600千円（5月16日現在）
- ひとり親家族等への臨時特別給付金の給付
 - 支給件数 2件 200千円（5月16日現在）
- 子育て世帯への感染症特別支援金の給付
 - 支給件数 118件 1,180千円（5月16日現在）
- 感染症自宅療養者及び濃厚接触者への買いもの支援
 - 支援件数 5件（5月16日現在）

7 ワクチン接種

- ワクチン接種数
 - ・12歳以上の対象者への接種
 - 【対象人口（12歳以上） 90,625人】5月18日現在（VRS登録 飯田市）
 - ※VRS：ワクチン接種記録システム
 - 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種にあたり、個人の接種状況を記録する全国共通の情報管理システム
 - 1回目接種 81,409人（89.8%）
 - 2回目接種 81,027人（89.4%）

3回目接種 57,449 人 (63.4%)

- ・小児接種 (5~11 歳対象)

【対象人口 (5~11 歳) 5,930 人】5月18日現在 (VRS 登録 飯田市)

1回目接種 866 人 (14.6%)

2回目接種 511 人 (8.6%)

○進捗状況

- ・1回目、2回目接種と共に、2回目接種から6か月経過した方に対し、3回目接種を実施している。
(12歳以上対象)
- ・小児接種の1回目、2回目を、一部の医療機関で実施している。

8 検査体制

○地域外来・検査センター実績 (令和4年3月~令和4年5月)

	検体採取数 (件)	陽性数 (件)
3月	167	49
4月	344	117
5月	114	41
合計	625	207

(令和4年5月16日現在)

9 広報体制 (以下の広報媒体で市民へ注意喚起、啓発等)

- ・You Tube、Facebook、飯田ケーブルテレビ、南信州新聞による市長メッセージ配信
- ・You Tube ほか広告媒体による感染拡大防止啓発広告の掲載
- ・市公式 web サイト (感染症専門ページ、市長メッセージ動画、地域外来・検査センター検査状況等)